

株式会社 **アデランス**

グループCSR広報室

〒160-8429 東京都新宿区新宿一丁目6番3号

TEL: 03-3350-3268

E-mail: pr@aderans.com

URL: <https://www.aderans.co.jp/corporate/csr/>



株式会社アデランスは、2023 年をもって創業 55 周年を迎えます。新時代を表す「NEXT ADERANS」として掲げ、「世界のブランド アデランス」を目指し、夢と感動を提供つづけていきます。



当社の個人情報保護の取り組みは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より個人情報保護の体制や運用状況が適切であると認定を受けています。今後も個人情報の取得・保護における細心の取り扱いを徹底してまいります。



2014 年 4 月に国連グローバル・コンパクトに加入しました。社会の良き一員として、持続可能な成長を実現し、本業を通じて社会に貢献する「事業と一体となった価値共創型 CSR」を積極的に推し進めています。



株式会社アデランスは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

アデランスグループは、グローバルに事業を展開する企業として、SDGs で掲げられる、世界が直面するさまざまな課題と真摯に向き合い、事業を通じた社会課題の解決を図ることで、持続可能な社会の実現に寄与し、持続的な成長を目指していきます。

Communication
SDGs
Relationship

2022 - 2023
CSR コミュニケーションレポート

外部団体および企業とのコラボレーション



JHD&C
Japan Hair
Donation & Charity
Nonprofit Organization

特定非営利活動法人 Japan Hair Donation & Charity
団体の活動に賛同し、ウィッグの製作をサポートしています。



公益社団法人 日本毛髪科学協会

毛髪と皮膚についての正しい知識をお客様へお伝えできるように、公益社団法人日本毛髪科学協会に加入し、社員への毛髪診断士®の資格取得の推進に取り組んでいます。

毛髪診断士®は公益社団法人日本毛髪科学協会の登録商標です。



一般社団法人 日本毛髪工業協同組合

毛髪業界が健全に発展し、お客様からの信頼を得られるように、業界団体「日本毛髪工業協同組合」の運営に取り組んでいます。



特定非営利活動法人 日本経営倫理士協会

経営倫理の実践・普及を目的とするユニークな NPO。活動の中心は「経営倫理士」取得講座で、既に 770 人超の修了生が産業界で活躍中です。



Spiber 株式会社

持続可能な次世代の基幹材料として期待される構造タンパク質素材の産業化を目指している Spiber 社と、新しい毛髪素材の共同研究を行っています。



公益財団法人 日本チャリティ協会

日本チャリティ協会が推進するパラアート(障害者の芸術文化)事業に、オフィシャルサポーターとして協力しています。



ツバルの森

ツバルの森を通じて、日本国内山間部の森林再生活動に取り組んでいます。

このマークは、ツバルの森の植林の利用を表すマークです。



しずおか未来の森サポーター

「しずおか未来の森サポーター」として静岡県豊かな森林づくりをサポートしています。

株式会社 資生堂

一人でも多くの髪にお悩みをもつ方の力になりたいという思いが一致し、JHD&C、アデランスとの共同プロジェクトにて、医療用ウィッグ[wig + (ウィッグプラス)]を共同開発しました。



～みんなでひとつになろう～

OneWorld プロジェクト

「One World プロジェクト」(協力 / 公益財団法人日本対がん協会、後援 / J-CAN)の活動に賛同し、東日本大震災で被災された、がん患者様のウィッグの「お手入れ支援サービス」を 2021 年 6 月末まで提供しました。



株式会社 VOL-NEXT

患者様が安心して、医療用ウィッグをご利用できる体制を整えるため、がん患者サービス事業会社である VOL-NEXT 社による医療接遇講習を実施しています。



一般社団法人 経営倫理実践研究センター

企業の経営倫理を実践研究する産学協同の専門機関である一般社団法人経営倫理実践研究センターに参加し、経営倫理に関する組織体制の強化に努めています。



株式会社 TBM

プラスチックや紙の代わりとなる石灰石を主原料とする新素材 LIMEX を開発する株式会社 TBM と、地球の資源、環境問題に取り組んでいます。



PARAART(パラアート)は、身体や知的、精神面で障害を抱える人が(障害区分を問わず)取り組む芸術文化活動です。障害者の文化芸術活動と社会参加を支援することを目的として、日本チャリティ協会が発案し、2009年よりスタートしたプロジェクトです。国内はもとより海外でも周知拡大されています。



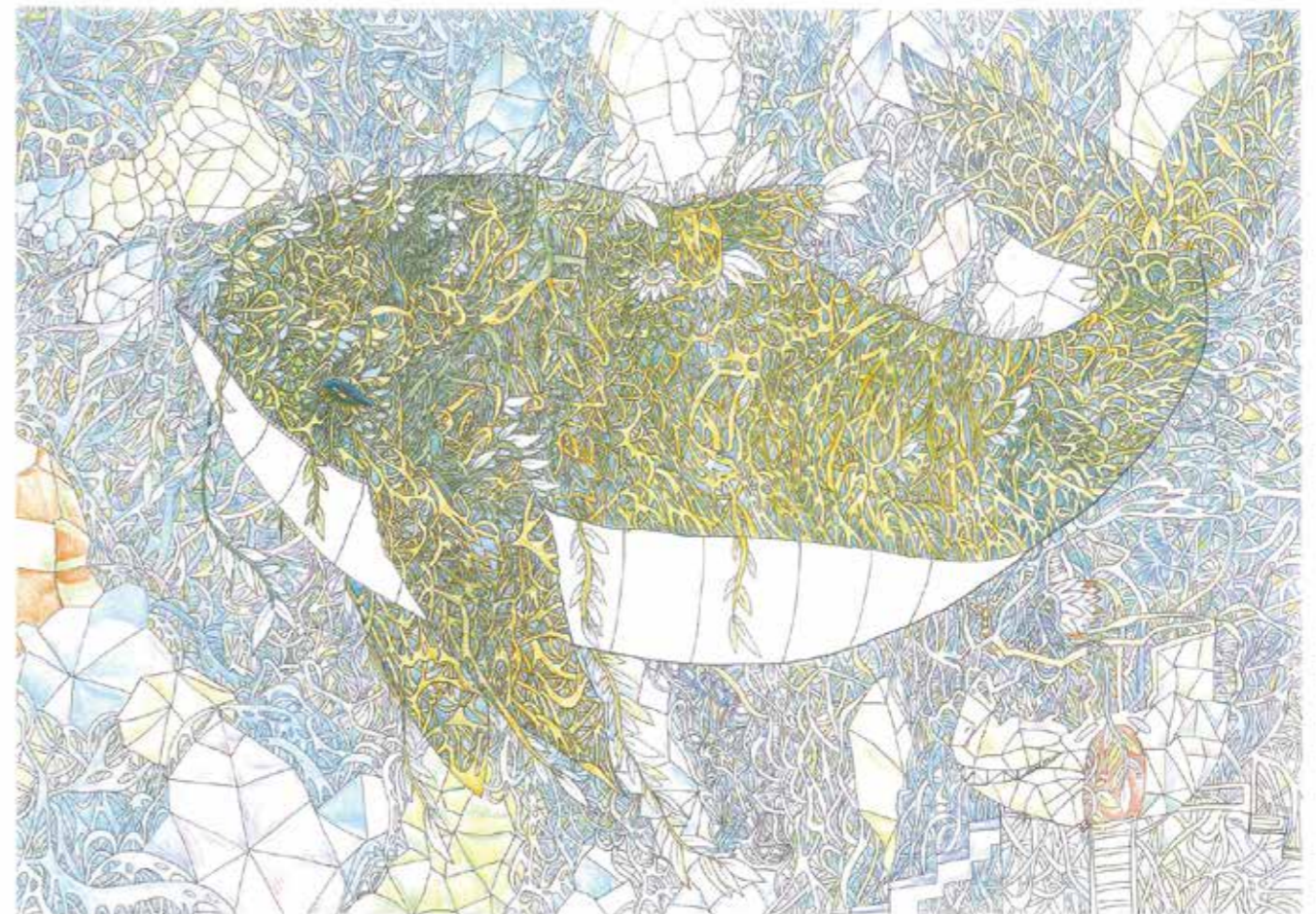
特定非営利活動法人 さくら並木ネットワーク

2011 年の東日本大震災・大津波の到達地に桜を植え、津波被害を伝承する桜並木を植樹し、東北地方の復興支援に協力しています。

- お願い -

- ・本冊子は、石灰石を主原料とした LIMEX を使用しています。
- ・本冊子の廃棄の際には、紙(古紙)のリサイクルやプラスチックの回収に混ぜないでください。
- ・本冊子の廃棄の際には、環境保全のため、お手数ですが、アデランス グループ CSR 広報室に送付いただくか、またはお近くのアデランス、フォンテーヌの店舗までお持ちください。回収・リサイクルし、LIMEX 製品として再利用いたします。

55
NEXT ADERANS
SINCE 1968 **アデランス**



2021 パラアート TOKYO 第8回国際交流展
アデランス賞 受賞作品

「クジラ」
Yui 様

ずっと笑顔でいられるために

アデランス
Aderans

経営理念

私たちアデランスグループの最大の使命は
毛髪・美容・健康のウェルネス産業を通じて
世界の人々に夢と感動を提供し
笑顔と心豊かな暮らしに貢献することです

私たちが目指すもの
「最高の商品」
「最高の技術と知識」
「心からのおもてなし」

トップメッセージ

グローバルウェルネスカンパニーの実現

次の100周年に向けて、毛髪・美容・健康・医療の「グローバルウェルネスカンパニー」を目指し、「世界のブランドアデランス」を実現してまいります。

男性用オーダーメイド・ウィッグの専門店として日本で創業した当社は、現在では、国内だけでなく、アメリカ・ヨーロッパ・アジアなどの海外でも事業を行う、男性用・女性用ウィッグ、毛髪移植、ヘアシステムなどのトータルヘアソリューション企業となりました。

活動地域は、現在19の国と地域となり、約6,700名の社員がグローバルな活動を広げています。それにともない、企業としての社会的責任にもグローバルな視点が不可欠となっています。

先般の新型コロナウイルスによるパンデミックで世界は大きく変わり、人々のライフスタイル、価値観は大きく変化しています。そうした状況下、当社は現在、中長期成長戦略「NEXT ADERANS」を策定し、グローバルビューティ&ウェルネスカンパニーへの変革に挑んでいます。

「美と健康を通じ、世界の人々に笑顔と喜びを提供する」という経営理念を軸に行動し、社会的価値の新たな創造に挑戦してまいります。



株式会社アデランス
代表取締役会長
ファウンダー（創業者）
根本 信男



株式会社アデランス
代表取締役社長
グループ CEO
津村 佳宏

会社情報

商号

株式会社アデランス
(英文名称：Aderans Company Limited)

本社

〒160-8429 東京都新宿区新宿一丁目6番3号

設立

1969年（昭和44年）3月1日

資本金

1億円

主要事業

毛髪関連事業、ビューティ & ヘルス事業、
グループ会社の経営管理ならびに
それに付帯する事業

グループ会社数

68 社 非連結子会社等を含む

地域別社員数

国内 2,498 名 国外 4,203 名
(国外は2022年6月末時点)

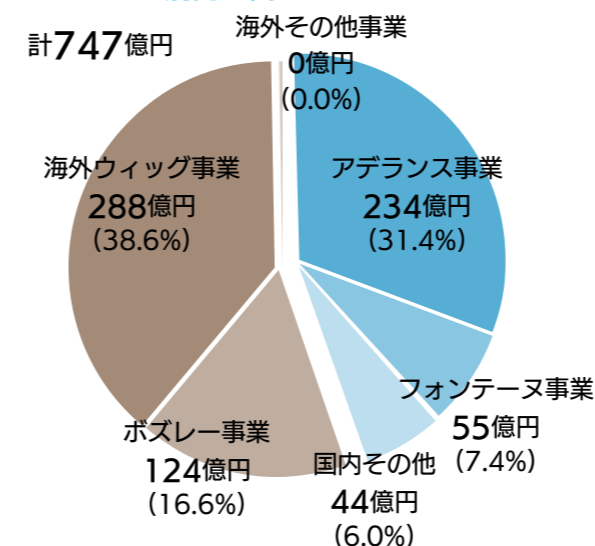
店舗数

国内	458 店舗	国外	276 店舗
アデランス	164 店舗	アメリカ	193 店舗
フォンテーヌ	224 店舗	アジア	33 店舗
病院内ヘアサロン	35 店舗	ヨーロッパ	50 店舗
その他	35 店舗		

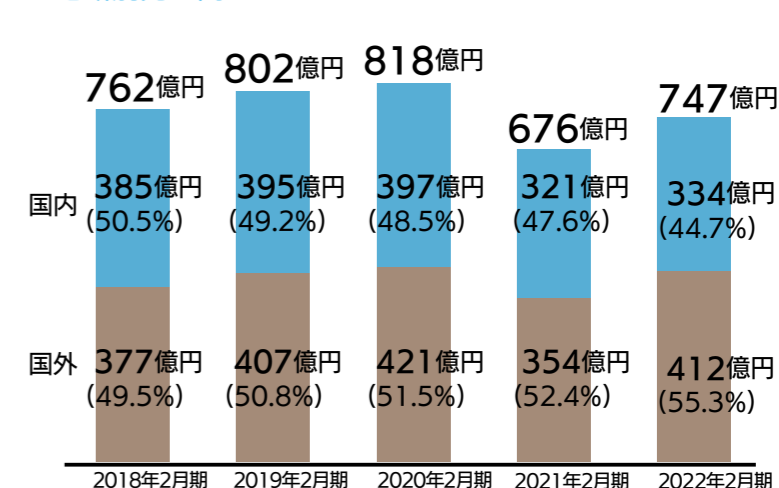
(記載がないものについては、すべて2022年8月末時点の数値)

業績ハイライト (連結ベース、2022年2月期)

セグメント別売上高



地域別売上高



※「国内その他」には、美材ルート事業、医療事業、通信販売事業、ハイネット社等が含まれています。
※記載金額は表示単位未満切り捨て、比率は少数第一位未満を四捨五入で表示しており、合計が一致しない場合があります。

沿革

アデランスは、1968年に男性用オーダーメイド・ウィッグ専門店として創業以来、「お客様の毛髪に関するお悩みを解決したい」という思いで、常に新しい価値を創造し続けてきました。

1970

創業期

1980

製販一体の総合毛髪企業へ

1990

グローバル化

2000

2010

2020

ウェルネス産業へ事業領域を拡大

1968

男性用ウィッグ専門
「個人商店アデランス」を創業



1972

テレビCMをスタート。男性用
ウィッグの存在を社会に広める



1974

全面人工皮膚のウィッグ
「AS-1」の販売を開始



注)写真は「AS-3」

1976

装着方法に革命を起こした
ワンタッチ商品「AQ-15」を発売



1978

子どもたちに笑顔を
「愛のチャリティ」スタート



1979

型取り(フィッター)を開発



1980

全国技術競技大会を開催



1983

人工毛髪の研究開始



1985

文化芸能活動が大きく加速
スタジオAD誕生



1986

アデランス・タイ社設立



1991

人工毛髪の商品化
「サイバーヘア」商品を発売



1999

タイ工場で
ISO9001/ISO14001取得



2001

米国毛髪移植のボズレー社を
グループ化



2002

病院内ヘアサロンの1号店をオープン



2009

ウィッグの回収と自然を結び
「フォンテーヌ緑の森キャンペーン」



2013

輝く女性への応援を開始



2015

世界初の国家基準化
医療用ウィッグ JIS規格制定



2016

美容領域へ進出
ビューステージブランド誕生



2017

フォンテーヌの全国ロープレ・
スタイリング大会を初開催



2020

光触媒技術を活用した
衛生事業を開始



2021

“レジェンド葛西”CCOに就任



2022

アデランス・レディスアデランスサ
ロン スタッフ用ユニフォームをリ
ニューアル



環境に配慮したSDGs視点の新商品
ウィッグを発売



2020

“目元ケア”に着目した眉毛専門店
「ビューステージ アイブロウサロン」

髪の専門家としての経験やノウ
ハウを活かし、トレンドやお顔
の骨格・表情等に合わせて自然
に美しい眉をご提案。



2021

“レジェンド葛西”が挑戦を続ける人達にエール！
「世界中の髪に悩む方を笑顔にしたい」

スキージャンプの葛西紀明選手
の「目標を達成するまでは諦め
ない」と挑戦し続ける姿勢に強
く感銘を受け、アデランスCCO
(チーフ・チャレンジ・オフィ
サー)に任命。



美髪エステサロン『ビューステージ 美髪エステ 新宿』

ご自身の“髪質”に悩みをお持ちの
お客様が多くご来店される背景
から、髪質のお悩みに合わせた
トリートメントメニューをオー
ダーメイドでご提供する専門店
として、アデランス初のトリ
ートメント専門店をオープン。



2022

次の50年先に向けて
アデランスの成長戦略『NEXT ADERANS』

「生まれ変わる」をテーマに、
会社特命プロジェクト「NEXT
ADERANS」を発足。事業の
多元化とワールドワイドなソ
リューションを推進。

55
NEXT ADERANS
SINCE 1968 アデランス

アデランスグループの主な変遷

1969 | アデランス社を設立
1968年創業

1985 | フォンテーヌ社をグループ化
1970年創業
(2003年アデランス社と統合)

1986 | アデランス・タイ社を設立

1990 | アデランス台湾社を設立

1992 | ワールド・クオリティ社を設立

1992 | アデランス・フランス社、
アデランス・ドイツ社、
アデランス・ベネルクス社をグループ化
カマフレックス・フランス社(1952年創業)、ヴァン・ノイ
エン社(1925年創業、1994年グループ化)、カマフレックス・
ドイツ社(1966年創業)、モンフェア・モーデン社(1986年
創業)、カマフレックス・ベルギー社(1962年創業)

2001 | ボズレー社をグループ化
1974年創業、ボズレー・メディカル・インスティテュート社
(1989年創業)、ボズレー・メディカル・カナダ社(1997年創業)
を2001年にグループ化しボズレー社に統合、エム・エイチ・
アール社(1999年創業、2007年グループ化)

2002 | アデランス・シンガポール社
アデランス・フィリピン社を設立
アデランス・ユーケー社をグループ化
トレンド・ヘア・サブライズ社(1964年創業)

2005 | アデランス上海社を設立
アデランス・スウェーデン社をグループ化
カール・エム・ルンド社(1900年創業)

2009 | アデランス・ヘア・グッズ社をグループ化
インターナショナル・ヘアグッズ社(1968年創業、1987年グル
ープ化)、ルネ・オブ・パリス社(1971年創業、1989年グル
ープ化)、ニュー・コンセプト社(1991年創業、1998年グル
ープ化)、ジェネラル・ウィッグ社(1963年創業、1998年グル
ープ化)、アデランス・リテイリング社(2001年創業)を統合

2013 | ヘアクラブ社をグループ化
ヘアクラブフォーメン社
(1976年創業、2003年ヘアクラブ社と統合)

2014 | アデランス・ラオス社(現:ラオ・クオリティ社)
を設立

2016 | ライツフォル社をグループ化(2003年創業)
ハイネット社をグループ化(1960年創業)

2017 | アデランスメディカルリサーチ社を設立
アデランス香港社を設立

2018 | アメコア・インダストリー社をグループ化
(1980年創業)
エステティカ・デザイン社をグループ化
(2005年創業)
アデランス・トータルヘアソリューション・イベリア社を設立
アデランス・トータルヘアビューティソリューション(タイ)社を設立

2019 | アデランス韓国社を設立

2021 | アデランスパイオ社を設立
インヴォーグ社をグループ化

L'HOMME ADERANS



ハイグレードとサステナブルが共存
アデランス史上、最高級ヘア & スカルプケアブランドが誕生

2020年の新型コロナウイルスの感染拡大以降、オンライン会議などで画面越しに自分の姿を目にする機会も多かったことから、男女問わずヘアケアやスキンケア意識が高まっています。

今回高い美意識やこだわりを持ち、上質なものを求める方に向けて、これまでアデランスが毛髪だけでなく美容・健康領域で培ってきたノウハウや、研究パートナーとの協力による最新テクノロジーを注ぎ込んだ最高級ヘアケアシリーズ『L'HOMME ADERANS(ロム アデランス)』を開発しました。また、サステナブルを意識し、容器は当社初となる詰め替え容器を採用し、環境に配慮した素材を使用しています。

L'HOMME ADERANS の特徴

容器

シンプルで上質なデザインを追求し、サステナブルな容器を採用

日本を代表するデザイナーでコミュニケーションデザイン研究所の工藤青石氏がデザインを担当しました。ボトル二つが一对の形として成立するフォルムになっています。

SDGsの観点から環境への配慮と、プラスチックの使用を削減しつつ、デザイン性も追求。長くご愛用いただけるよう、詰め替え容器には強度のあるABS樹脂を使用し、詰め替え用パウチにはサトウキビ由来の原料を利用したバイオマスプラスチックを採用しました。

表面塗装には山中塗の技法を用い、デザイン性ととも機能性も重視

容器の塗装には、伝統工芸の技法である山中塗の技法を用いており、水滴がつきにくく、滑りにくいのが特徴です。抗菌作用が認められた塗料を使用し、浴室でも清潔さを保ちます。職人の手で一点一点塗装を施した容器は、手触りやマット感など手塗りの良さを実感いただけます。



水滴がつきにくく、滑りにくい。乾漆粉を練りこんだ塗料を使用。対候性や抗菌作用もあり、浴室でも清潔に保つ。



広口で詰め替え時にこぼれにくく、内側が洗しやすい、清潔さも重視した設計に。



液量の調節がしやすいように、ヘッドが大きく、押しやすいオリジナルポンプを開発。

配合成分

肌老化の二大原因といわれる“酸化”と“糖化”に着目。2つの独自成分を配合

皮膚科学の分野で肌老化の二大原因といわれる“酸化”と“糖化”に着目。独自成分「亜鉛型αリポ酸誘導体^{*1}」と、セロリ茎エキス、ルチンからなる頭皮コンディションを整える独自成分「CR2コンプレックス^{*2}」が頭皮に働きかけて健康な毛髪を育むベース^{*3}を整えます。

※1 ヒスチジンジチオオクタンミド(Na/亜鉛) (肌を健やかに保つ成分)
※2 セロリ茎エキス、ルチン(糖化に着目した保湿成分)
※3 頭皮、毛髪を健やかに保つことによる

使用感

ミクロプロテイン^{*4} 採用で理想的な洗い上げりに

シャンプーは少量で泡立ちが良く、ストレスフリーな洗い心地を実現。頭皮と毛髪をすみずみまで包み込み、髪の細部まで成分を届け、やさしく洗い流します。シャンプーとコンディショナーには、アデランス独自の毛髪組成理論に基づく、ミクロプロテイン^{*4}を配合しました。ミクロプロテイン^{*4}で頭皮と毛髪をパックすることで髪を補修し、しなやかなハリとコシ、ツヤを与え、上質な洗い上げりを実現します。

※4 アセチルデカペプチド-3、オリゴペプチド-20、オリゴペプチド-2、加水分解コラーゲン、加水分解エラスチン、水溶性プロテオグリカン、加水分解セラチン(以上、ヘアコンディショニング(整肌)成分)、カプロオイルテトラペプチド-3(皮膚保護成分)、ヒアルロン酸ヒドロキシプロピルトリモニウム(皮膜形成成分・保湿成分)

香り

時間経過で変化する“ウェルネスグリーン”の香り

香料は、香水とアロマを専門に製造を手掛けるフランスのアルジュビル社に開発を依頼。ベルガモットの果実やミント、ジャスミンの花など、14種類のエッセンシャルオイルを配合しています。また、使用時のそれぞれのタイミングで香りが変化するように調合しておりナチュラルな心地よさを感じられる香りに仕上げました。

開発者とのステークホルダー・ダイアログを23ページで紹介しています。

「誰も置き去りにしない」社会へ

内閣府の「令和3年 障害者白書」によると、日本の障害者の人数は964万7千人で、日本国民の7.6%が何らかの障害のある人という計算になります。また、厚生労働省の「令和2年 障害者雇用状況の集計結果」によると、雇用障害者数は57万8292人となっており、実雇用率は2.15%で、法定雇用率達成企業の割合は48.6%に留まっています。

アデランスグループでは、障害者を含めた多様な人が安心して暮らせ、活躍できる社会作りに向けて、日本だけでなく世界でのグループ会社でも、様々な取り組みを進めています。

視覚障害者の発案から生まれたユニバーサルデザイン化粧パレット『BLINDMAKE UD パレット』を開発

これまで医療用ウィッグ開発において患者さまの“外見ケア”と向き合ってきたアデランスでは、外出を控えてしまう、人に会いづらい、心理的にふさぎ込んでしまうなど“ルックスケア”に悩みを抱える視覚障害者の方々をメイクを用いて応援したいという想いのもと、化粧パレット『BLINDMAKE UDパレット』を発売し、どんな方にも使いやすいユニバーサルデザインを採用しています。商品化にあたっては、一般社団法人日本ケアメイク協会で「BLINDMAKE」を広める活動を行う視覚障害者の方々と共同で開発を行いました。



アートを通じた障害者の皆様の支援

多様な個性に寛容なインクルーシブな社会の実現を目指し、障害者の皆様の経済的自立、社会参加を目的とした支援を行う障害者アート活動に賛同した取り組みを行っています。

支援の取り組みの第一弾として、2021年のCSRコミュニケーションレポートの表紙絵より、障害者アートの作品を活用させていただきました。

2022年では、CSRコミュニケーションレポートの表紙絵のほかに、障害者アート作品を活用したお客様向けノベルティ、2023年会社カレンダーなど、コラボレーションが広がってきています。



2022パラアートTOKYOの会場を訪れた当社社長の津村佳宏



2023年のカレンダーに障害者アート作品が登場

その他障害者の皆様への活動

上記以外にも、日本国内・海外にて、様々な活動が行われています。これからも、障害者の皆様と一緒に、豊かな社会づくりに貢献していきたいと考えています。



日本) 新宿養護学校での特別授業



タイ) 福祉支援自動販売機の設置

国内事業

日本国内では、男性向け「ADERANS」、女性向け「レディスアデランス」「FONTAINE」のブランドを核に、時代とともに変わるお客様のニーズに対応しています。

アデランス事業

トータルヘアソリューションブランド アデランス

アデランスのサービスは、まず初めにお客様の髪や頭皮に関するご相談を丁寧に伺うところから始まります。お客様のお悩みやご希望のヘアスタイルに応じて、お客様の髪の色や頭の形に合わせてつくる「オーダーメイド・ウィッグ」、自髪を活かして部分的に増やす「増毛商品」、頭皮環境を整える「育毛サービス」や最新の増毛技術「ヘアシステム」まで、お客様の魅力を最大限に引き出す商品・サービスをご提供します。また、定期点検やウィッグメンテナンス、ヘアカット、ヘアケアなど、アフターサービスも充実しています。（2022年8月末現在、全国163店舗展開）

ADERANS

「髪を増やす」「髪を育てる」という2つのアプローチ

新增毛サービスの「ヘアパーフェクト」、自髪を活かして人工毛髪を結びつける増毛商品「ピンポイント」や「バイタルEX」、育毛商品「ヘアリプロ」まで幅広いラインナップ。米国ヘアクラブ社のシステムをアレンジした年会制プラン新增毛ヘアシステム「アデランスフリーダム ジェントルクラブ」も発売。男性のあらゆる髪の悩みにお応えすべく進化し続けています。

レディスアデランス

オーダーメイド・ウィッグからビューティヘア＆スカルプケアまで

女性向けオーダーメイド・ウィッグブランドとして長くご愛顧いただいている「イヴシリーズ」は、グループで培った技術やノウハウをもとに、女性の髪のお悩みを解決し、おしゃれを楽しんでいただく商品をご提供しています。また、“大人のエクステ”として「ヘアアップα」や頭皮をケアしながら美しい髪を育む「ベネファージュ」シリーズも展開しています。



その他国内事業

医療事業

病院内にヘアサロンを35店舗（2022年8月末現在）開設。患者さまの身体的負担を考慮した移動式理美容椅子を導入し、頭皮をいたわるヘアケア商品を使用した一般理美容サービス（シャンプー、ヘアカット）に加えて、医療用ウィッグ「ラフラ」をはじめ、ファッションウィッグを提供しています。また、患者さま向け肌着「メディキュア」等、QOL 向上に貢献するため、治療に伴う様々なケアグッズもご紹介しています。



通信販売事業

主に2つの柱を基軸にビジネスを展開。①EC直販サイトやダイレクト通販を中心としたBtoCビジネス、②TVショッピングなど通販会社向けに卸事業を中心としたBtoBビジネス。男性、女性向けヘアケア商品から美容機器、ウィッグまで幅広い商品ラインナップも特徴の1つです。



美材ルート事業

全国の理美容室に美容材料商などを通じ、当社のウィッグをお届けしています。美容師を対象とした講習会を通じた販促活動のほか、化粧品店に向けて卸売を行い、一般のお客様へ当社のレディメイド・ウィッグを販売しています。新たに事業者に向けて光触媒コーティングによる衛生サービスも提供しています。



新業態事業

美容と健康をテーマにした「ビューステージ」ブランドでは、トータルビューティをサポートする商品やサービスの提供を推進しています。2020年11月からは眉毛のスタイリングサービスを提供する「ビューステージ アイブロウサロン」を出店するほか、BtoBビジネスを含めた新事業全般の企画開発・展開・運営の事業活動を行っています。



企業としての社会貢献へさらに努めていきます

当社は、毛髪のお悩みに最適な商品を提供し、創業当初から購入後の「アフターサービス」を重視してサービスの向上に努めています。外部との協働も積極的に進めており、その一つが保険会社との協働で、がん罹患者様への外見ケアとした医療用ウィッグの理解促進から保険加入者様やそのご家族様向けの特典も設け、2014年開始から現在まで7社で展開しております。

もう一つ、主な活動として2015年頃から関心の高まったヘアドネーション。自社工場でもOnewigの作製を開始、2022年からは、当社サロンをヘアカット店舗として登録（JHD&C賛同サロン）、全国13店舗で展開しフォロー体制を整えています。こうした活動をさらに増やし、企業としての社会貢献にさらに努めてまいります。



株式会社アデランス
AD 営業企画部
部長
杉田 慎一郎

フォンテーヌ事業

手軽に楽しめるレディメイド・ウィッグをバリエーション豊かにご用意

全国224の百貨店、直営店、大手流通チェーンで、レディメイド・ウィッグ（既製品）を提供しています。（2022年8月末現在）百貨店内の店舗、直営店「フォンテーヌ」では、人毛と人工毛髪をミックスして、ハンドメイドで仕上げた「ヴァラン」、個性豊かな色使いのスタイリッシュヘア「ロロック」、気軽にボリューム感をプラスするトップピースなど、高品質でファッション性の高いレディメイド・ウィッグをご用意しています。

広がり続けるフォンテーヌブランド

より多くの女性にウィッグを楽しんでいただきたい。そんな想いからあらゆるファッションシーンで楽しんでいただくためのブランドを、多様な流通経路を通じて発信しています。主力ブランドであるフォンテーヌは、全国の百貨店と直営店で展開。また、より身近に気軽にウィッグを楽しんでいただける「スワニー by フォンテーヌ」と欧米を中心に海外の女性に愛されてきた「ルネオブ パリス」の"インポートブランド"をはじめ、アクティブにオシャレを楽しめるウィッグショップを大型スーパーやショッピングモールを中心に展開しています。

FONTAINE



国内グループ会社

アデランスメディカルリサーチ社



2017年に設立し、グループ入り。医療機関向けの機器や医薬品、サプリメントや機能性表示食品などの販売及び、クリニック運営支援並びにコンサルティング事業を行っています。



ライツフォル社



2003年に設立し、2016年にグループ入り。専属工場を持ち、主に女性用ウィッグ、医療用ウィッグの製造販売・修理並びにヘアサロン（美容ルート）へのご提案を行っています。自社運営のネットショップおよびモール型店舗では、ウィッグのほか厳選した美容・健康商品を多数取り扱っています。

アデランスバイオ社



2021年3月に設立し、佐賀県に本社兼工場を構え、光触媒をはじめとする衛生商品の開発製造から販売までを一貫して手掛けています。また、バイオサイエンスによる環境問題への取り組みなど、アデランスグループ全体における衛生・環境分野の強化・推進を図ってまいります。

パルメッセ社

保険事業、美容・健康事業、衛生事業、不動産事業を展開しています。衛生事業では、光触媒ブランド「Hikarium」を展開し、消臭・抗菌・抗ウイルスコーティングを目的とする商品・サービスを提供しております。「Hikarium」を通じた衛生事業の強化・推進及び、光触媒の認知拡大、産業の発展に貢献していきます。

PalMesse

海外事業

各国のグループ会社においても、国内の取り組みと連動して「自社の強みを社会で活かす」を基本精神に、お客様の毛髪に関するニーズに対応しています。

BOSLEY

北米での海外ビジネス

ボズレー社



ボズレーは北米市場における毛髪移植（ヘアトランスプラント）のリーディングカンパニーです。

ボズレー社は、北米市場でトップシェアを有する、毛髪移植における世界的な第一人者です。ボズレー社の毛髪移植は専門性の高い医師と医療スタッフにより行われ、後頭部または側頭部の頭皮から健康な毛包（毛根を含む組織）を切除し、薄毛部分に移植します。施術方法は従来からあるFUT^{*1}の他、メスを使わない施術方法FUE^{*2}が加わり、より患者様のニーズに合わせた施術を提供しています。2022年8月末現在、25のクリニックと47の相談室を展開しています。

*1: FUT: 毛包移植
(Follicular Unit Transplantation)



*2: FUE: 毛包摘出
(Follicular Unit Extraction)



アデランス・ヘア・グッズ社

アデランス・ヘア・グッズ社は、男性・女性向けのオーダーメイド・ウィッグ、レディメイド・ウィッグなどの卸売を展開しています。米国でも有数の大手ウィッグメーカーとしてお客様に高品質のウィッグを提供しています。今後はさらなる成長に向け、既存ブランドの強化や新規商品の開発、販路の開拓を行っていきます。

インヴォーク社

自社eコマースサイトを通じたファッションウィッグ、ヘアピース、その他毛髪関連商品の小売を行っています。

アジアでの海外ビジネス

アデランス香港社



2017年4月、現地法人を設立。サロン機能を併設しており、ウィッグのみならず、増毛から育毛サービス、美容機器まで提供しています。

アデランス上海社

2005年12月、現地法人を上海に設立。日本同様にオーダーメイド・ウィッグ、レディメイド・ウィッグを扱い、特に百貨店やモールでのレディメイド・ウィッグの販売に力を入れています。

アデランス上海貿易社

中国で、商品の輸出入業務、卸売を行っています。

アデランス台湾社



1990年1月、現地法人を設立。ヘアサロン機能を完備したオーダーメイド・ウィッグ、増毛や育毛サービスがメインのサロンを運営のほか、レディメイド・ウィッグをメインとした路面店、百貨店での運営も行っています。

アデランス韓国社

2019年11月、現地法人を設立。約1年の準備期間を経て2021年1月よりレディメイド・ウィッグ、ヘアケア商材、美容機器等の卸売事業を展開しています。

アデランス・シンガポール社



2002年9月、現地法人を設立。モールで展開するレディメイド・ウィッグ販売に加え、サロンではオーダーメイド・ウィッグ、増毛、育毛までトータルに提案しています。

アデランス・トータルヘアビューティソリューション（タイ）社

2018年9月、バンコクに現地法人を設立。同年11月に、サイアム高島屋内に「アデランス サイアム高島屋」をオープンしました。レディメイド・ウィッグ、オーダーメイド・ウィッグ、増毛商品を提供しています。

チーム力で世界中を笑顔でいっぱいになりたい

ADUK社では、英国でナンバーワンのヘアソリューション企業を目指しています。昨今の厳しい情勢下でも、BtoB eコマースの継続的な強化やSNSの活用・新システム導入などのDXの推進や、ADUK限定コレクションの発表などにより売上が拡大するなどの施策を、活気と野心と熱意に満ちたUK社員のチーム力により達成。チームのアイデアや戦略に耳を傾けることや、定期的な研修、すべての部門間での効果的なコミュニケーションにより、目標、ビジョン、ミッションを常に一致させ、チームに投資することを重要視しています。私たちのビジョンは、どのようなタイプの薄毛であっても、すべてのお客様に最適なソリューションを提供することです。そのためには、新しいデザインと開発の最前線に立ち、最高のサービスを提供し、最高の商品を提供し続けることが必要です。今後も一丸となつてともに協力し合い、あらゆる面でより効果的なシナジーを発揮できるよう努力してまいります。



アデランスUK社
Managing Director
アネル・ワイヤット

ヘアクラブ社



北米市場において
毛髪に悩む男性・女性向けに
総合毛髪関連事業を展開する
リーディングカンパニーです。

アメコア・インダストリー社 エステティカ・デザイン社

女性向けのレディメイド・ウィッグの卸売を行っています。特に、アメコア・インダストリー社はアフリカ系アメリカン市場に強みを持っており、さらなるシナジーを推進していきます。



欧州での海外ビジネス

アデランス・ユーケー社



ファッションウィッグやヘアエクステンション、その他毛髪関連商品の卸売・小売販売を行っている、英国におけるウィッグ販売の第一人者です。

アデランス・ドイツ社

ウィッグやヘアピースなどをドイツ国内百貨店・直営店で小売販売。ドイツ国内および東欧諸国での卸売を行っています。

アデランス・スウェーデン社



スウェーデンでのウィッグの代名詞となった企業。国内のみならず、フィンランドやノルウェー、デンマーク等に輸出しています。病院内ヘアサロンを含む店舗の運営も行っています。

アデランス・トータルヘアソリューション・イベリア社

ファッションウィッグやつけ毛、その他毛髪関連商品をスペイン、ポルトガルに卸売しています。その他、小売店2店舗の運営を行っており、毛髪移植のサービスも提供しています。

アデランス・ベネルクス社



オランダ、ベルギー国内の卸売、直営店での小売販売の他、オランダでは病院内ヘアサロンも展開。女性用ウィッグの分野では、オランダ、ベルギーにおけるファッションリーダー企業です。



グループ生産拠点

アデランスグループは、生産販売一貫体制のもと、タイ、フィリピン、ラオスなどにある自社工場及び提携工場において、熟練した技術者が繊細で高品質なウィッグの生産を担っています。

当社は、1986年のアデランス・タイ社設立を皮切りに、1992年にワールド・クオリティ社(タイ)、2002年にアデランス・フィリピン社を設立し、東南アジアでの生産を拡大してきました。

2012年9月よりラオスでの生産を開始し、2013年10月にはフィリピン第2工場を稼働しました。タイ、フィリピン、ラオスを三拠点として、お客様に高品質のウィッグをお届けしています。



アデランス・タイ社

1986年、ナワナコンに設立し、1988年にブリラム工場が稼働し、レディメイド・ウィッグの一貫生産、オーダーメイド・ウィッグの毛植え・ベース裏コーティング・検品、商品の修理業務も行っています。1999年にISO9001、ISO14001認証を取得しました。2009年に学校内への植樹活動、2012年に病院へのウィッグ寄贈を開始しました。



品質および環境マネジメントシステムの国際規格であるISO認証を取得

ワールド・クオリティ社

1992年にタイのアユタヤに設立し、2001年から人工毛髪「サイバーヘア」(2012年APIへ移管)、2006年から人工毛髪「バイタルヘア」の生産を開始しました。2011年のタイ・アユタヤの洪水の被害を受け、2012年にサラブリ工場を建設し、移転しました。タイ、ラオスにおけるオーダーメイド・ウィッグの製造・物流窓口を担当しており、2015年にはISO9001認証を取得しました。

2017年には病院へのウィッグ寄贈を開始しました。

アデランス・フィリピン社

2002年フィリピンのクラークに設立し、男女オーダーメイド・ウィッグの製造および輸出を行っています。2012年から人工毛髪「サイバーヘア」の生産を行っており、2013年にオーダーメイド・ウィッグの毛植え工程専門工場として、第2工場が稼働を開始しました。2015年には教育部を設立し、新人教育や外注先の教育活動を行っています。

ラオ・クオリティ社

2012年に、新たな生産拠点として、ラオスのヴィエンチャン工場にて、オーダーメイド・ウィッグの毛植え工程の委託生産を開始しました。2017年に同工場を運営するラオ・クオリティ社をグループ化し、ワールド・クオリティ社から届く商品の毛植えをメインに行っています。また、職業訓練校と連携して、植毛科を開設し、雇用の創出を図っています。

現地従業員数 (2022年8月末現在)

アデランス・タイ社	554 名
ワールド・クオリティ社	206 名
アデランス・フィリピン社	666 名
派遣社員	501 名
ラオ・クオリティ社	975 名

* 派遣社員：派遣会社と提携して工場内で就業している社員

コーポレート・ガバナンス

アデランスグループでは、コーポレート・ガバナンスの重要課題の一つとして「ダイバーシティ&インクルージョン」に取り組み、国籍・性別等属性を問わず、多様な価値観や考えを持った人材が互いを尊重し合い、個性や能力を存分に発揮し活躍できる環境づくりを進めています。

アデランスは、経営の視点から見ると「ダイバーシティ」に根づいた経営をしている先進的な企業と言えます。これは、創業者の根本会長が、創業時の目標として「目指せ世界のブランド アデランス」を標榜した時から、「グローバルな企業戦略はアデランス本社が考えるが、現地の成長戦略は海外進出によってグループ化した現地の経営陣によって牽引すべき」との考えに基づき、現在、米国の子会社の経営トップは米国人が、欧州各国の子会社の経営トップはヨーロッパ人が担っています。こうした国や文化を越え多様性を活かした経営は正に「ダイバーシティ経営」と言えます。そうした中、米国ボズレー社が取り組む、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)が進化した「DEIB」を本レポートで紹介したいと思います。



株式会社アデランス
上席執行役員
管理本部 副本部長
グループ CSR 広報室 担当
箕輪 睦夫

ボズレー社での DEIB 視点の取り組み

ボズレー社では、「ダイバーシティ&インクルージョン」を「ダイバーシティ／多様性」「エクイティ／公平性」「インクルージョン／包括性」「ビロンギング／帰属性」(以下、「DEIB」)の視点で進化させ、所属部署の異なる多様な社員が集まるDEIB委員会を2021年より定期的に開催し、社員だけでなく、お客様向けの取り組みを実践しています。

・Diversity (ダイバーシティ／多様性)

民族、ジェンダー、性的指向、年齢、軍人／退役軍人のステータス、居住地、国籍、障害の有無、スキルなど、さまざまな要素を含むこと。

・Inclusion (インクルージョン／包括性)

チーム内のすべての人が、違いがあっても公平に、敬意を持って扱われること。インクルージョンとは、社員同士がどのように交流するかを指す。

・Equity (エクイティ／公平性)

多様な背景を持つ社員ひとりひとりが成功するために、必要なリソースに容易にアクセスでき、平等な機会を与えられること。

・Belonging (ビロンギング／帰属性)

社員が職場で受け入れられていると感じるかどうかが、チームメンバー全員が、自分の考え方が評価され、自分は役に立っていると感じられること。

患者様記入用紙の多言語化

植毛施術に関する確認事項や同意書など、患者様が記入される書類をスペイン語に翻訳しました。米国では、英語の次にスペイン語が話されて、実に4,000万人以上がスペイン語を家庭で話しています。



トランスジェンダー患者様向けの SNS 発信

男性から女性に性転換されたケースとして、脱毛症状がある男性でも、ボズレー植毛により髪を取り戻すと同時にボズレー医師の高い技術と豊富な経験により、患者様が望む女性らしい丸いヘアラインを実現できることを紹介しています。



多様性を認め合うことが、ビジネスにもプラスに

ボズレー社では、年齢・人種・宗教など多様な社員が働いています。そのため、DEIBの考え方は、非常に重要です。この考え方をさらに進めることで、ビジネスとしての成果にもつながると考えています。実際、お客様である患者様や、社員の満足度が上がってきています。

2022年のDEIB委員会でのアイデアをもとに、LGBTの皆様に、ボズレーが提供できるヘアソリューションを提唱し、多様な社会への貢献にも繋がりました。



ボズレー社
社長兼CEO
ロブ・スプーレル

ずっと笑顔でいられるために

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとCSR活動の関連付け

組織内のSDGsへの理解を深める

課題解決に向けた
新たなビジネス機会の検討2030年までの長期目標
「SDGsコミットメント」の設定国内外での新たな領域への
CSR活動の広がり

アデランスグループは、グローバルに事業を展開する企業として、2030年までの実現を目標とする世界共通の目標「持続可能な開発目標（SDGs）」で掲げられる、世界が直面するさまざまな課題と真摯に向き合い、事業を通じた社会課題の解決を図ることで、持続可能な社会の実現に寄与し、持続的な成長を目指していきます。

SDGs視点に基づいた活動体系へ

アデランスグループが、今まで取り組んできた価値共創型CSR活動を、SDGs視点に基づいた分類に移行し、関連性の高い目標策定を進めています。

現在、社内での組織横断的なメンバー編成によるプロジェクトにて、アデランスの目指す未来とSDGsの社会課題についてのあり方などの議論を進めています。

今後も、当社の事業成長と同時に、SDGsが目指す持続可能な社会が実現するような、社会課題の解決に寄与する事業の推進に努めていきます。

SDGs活動の4つの分野

ずっと笑顔でいられるために

健康の笑顔

- ・毛髪を通じた健康課題の解決
- ・毛髪周辺領域での潜在課題の解決



社会の笑顔

- ・地域社会・コミュニティとの連携
- ・社会を配慮したユニバーサルデザイン
- ・働きがい・人財育成・ダイバーシティ&インクルージョン



地球の笑顔

- ・環境汚染予防
- ・環境負荷の低減
- ・資源循環型社会の実現



未来の笑顔

- ・文化の発展
- ・子どもたちへのサポート
- ・持続可能な社会に向けた取り組み



各分野のSDGsテーマは主に関連するものを記載しています。
また、活動内容によっては複数の分野に及ぶものもあります。

光触媒技術を活用したSDGs視点の新事業

アデランスグループは、長年の毛髪研究から生まれた健康に関する技術を活かし、毛髪だけでなく、美容や健康領域にも積極的に取り組んでいます。

昨今の衛生管理に対する意識の高まりを受け、社会の衛生環境に寄与するという理念のもと、光触媒を中心とした衛生事業を開始しました。

日本発の光触媒技術の世界へ

光触媒は1967年に日本で発見された技術で、非枯渇性エネルギーとして、衛生や環境分野での活用が期待されています。当社は、その光触媒反応の発見者であり、世界的な化学者である藤嶋 昭氏（東京理科大学名誉教授）と顧問契約を締結しています。

光触媒コーティングの作用



光触媒は「それ自体は変化しないが、光を受けることで反応を促進するもの」と定義づけられます。酸化チタンを主原料とする光触媒溶液は、太陽光や蛍光灯などから出る光線を当てることによって、その表面で化学反応を起こし、有機物などを分解する特徴があるとされています。
※すべての菌・ウイルスに効果があるわけではありません。

光触媒を中心とした衛生事業は、安心・安全に暮らせる地球の未来に向けた、SDGs活動の一環としても重要な意味をもっています。また、当社光触媒のブランドや商品を通じて、日本発の光触媒技術を世界に広げていきます。

今後の事業展開

当社では、創業50周年を迎えた 2018年以降、事業領域を毛髪に留まらず、美容・健康に関する分野まで拡大しています。新型コロナウイルスの流行により、衛生管理への意識が高まる中、2020年9月には、抗菌・抗ウイルス・消臭などの効果が期待される光触媒技術を用いた衛生事業を立ち上げ、光触媒ブランドの展開を開始しています。

環境や衛生分野に関する研究開発をはじめ、国内外に向けた商品企画、製造販売の更なる強化を目的に、2021年3月16日にアデランスバイオを佐賀県内に設立しました。佐賀県は光触媒コーティング剤に関する県有特許を取得しており、自治体を挙げて知的財産を活用した地域振興に取り組むなど、当該事業を展開する上で様々な土壌が整備されています。光触媒に関連する多くの企業も集積していることから、立地的な利点を生かした取り組みを進めてまいります。

アデランスバイオでは、光触媒溶液や当社オリジナル商品の販売を行いますが、今後、アデランスグループのネットワークを活用しながら、様々なパートナー企業と協力した製品の開発等も行っていきます。

衛生分野だけではなく 環境分野などの様々な分野に展開

当社では衛生事業としてスタートした光触媒事業ですが、次世代の光触媒は再生可能エネルギーの力を秘めております。現在、私は地球環境の改善に貢献すべく、光触媒の新たな活用方法として取り組んでおります。

現在最も使用されている光触媒は酸化チタンで、酸化チタンは酸化力が強く、有機物を分解する力がありますが、CO₂を分解することはできません。

名古屋工業大学では、光触媒カーボンナノチューブを開発されました。光触媒カーボンナノチューブは還元力が強く、太陽光と水を用いてCO₂をCOに還元することに成功されています。当社はこの研究への親和性を感じ、共同研究を開始することになりました。

光触媒は近年、水素などのエネルギー関連や水や空気浄化などの研究が盛んに行われています。そのような地球環境課題の解決に向けた研究に携われるのは魅力があります。



株式会社アデランス
商品企画開発部
リーダー
中川 陽平

健康の笑顔

活動テーマ

多くの人が健康であること

- ・毛髪を通じた健康課題の解決
- ・毛髪周辺領域での潜在課題の解決

アデランスグループは、トータルヘアソリューション企業のリーディングカンパニーとして、世界各国で毛髪に悩む人々へ笑顔を届けるため、自社研究開発はじめ、大学との産学連携やパートナー企業との共同研究開発を積極的に推進し、画期的な人工毛髪や医療用ウィッグの研究、育毛・ヘアスカルプケア関連研究、抗がん剤脱毛抑制研究など、毛髪を通じた健康課題の解決を推進しています。

がん患者さまなどへの支援

がんと共に生きる社会において一人ひとりがいきいきと過ごせるように

がんは、日本において日本人の死因の第1位で、生涯のうちにがんにかかる可能性は、男性の2人に1人、女性の3人に1人と推測されており、日本だけでなく、がんに罹患する人、そしてがんにより死亡する人は世界的に増加しています。また、がんからの生存率は改善が続けられており、早期発見、治療環境、患者さまやご家族の悩みのケアなどの取り組みが重要となっています。（出処：厚生労働省「がん対策政策レポート」など）

アデランスグループでは、このような、がんと共に生きる社会において、一人ひとりが、いきいきと笑顔で過ごすことのできる社会の実現に向けて、国内外でさまざまな活動を進めています。

医療用ウィッグのJIS規格化

日本毛髪工業協同組合が申請したJIS原案が経済産業省の審議を経て、2015年4月20日、ウィッグとしては世界初の国家規格として制定されました。JIS規格化にあたって、アデランスグループは、業界のリーダーとして中心的な役割を担ってきました。

今回のJIS規格化により、医療用ウィッグの品質に関する基準が明確となり、お客様に安心してご購入いただけるようになりました。

保険会社との連携

保険会社各社と連携し、外見ケアという側面で、患者さまへの幅広いサポート体制の構築に協力しています。AIG損害保険とは医療用ウィッグの購入費用を補償する保険で提携し、ライフネット生命・オリックス生命・セコム損保保険・第一生命保険・明治安田生命とは当社の医療用ウィッグなどを優待価格などでの提供で提携しています。

医療接遇講習

病院を訪問させていただくスタッフ、患者さまをお手伝いさせていただくスタッフには、医療知識などの講習を義務付けています。

外部専門講師による医療接遇講習は、VOL-NEXT社（がん患者サービス事業会社）により実施され、2005年以降の累計1,345名の社員が受講しています。（2022年9月20日現在）

主に関連するSDGs



活動指標

JIS申請の医療用ウィッグ（累計）

2015年 26種類
※医療用ウィッグ以外にも含めるとJIS申請数は28

現在 (2022年) 72種類
※医療用ウィッグ以外にも含めるとJIS申請数は178

2030年 122種類

運動を通してがん患者様を支援する団体 キャンサーフィットネスのサポート

一般社団法人キャンサーフィットネスは、「がんになったら運動しよう!」を合言葉に、体力作り支援・がん治療後の自己管理の支援といった活動をされている団体で、患者さまを対象にした様々な種類の「運動教室」と、治療後の人生のQOLを向上するために自分の健康管理の方法を学ぶイベントを開催されています。

当社は、2017年よりサポートを始め、当社の会議室をフィットネス等の会場として提供しているほか、患者さまにウィッグを体験いただくイベント、毛髪のお悩みに関する講演などを行っています。

エステティカ社)Keep A Breast へのサポート

2019年より小売店などと協力し、ピンクリボン月間の10月に毎年5000ドルをKeep A Breastに寄付しています。Keep A Breastは、カリフォルニア州に本部を置く、非営利団体で、教育や予防、行動を通じて乳がんのリスクとその影響を世界的に減らすことを使命としています。



毛髪を通じて健康をサポート

アデランスグループは、トータルヘアソリューション企業のリーディングカンパニーとして、世界各国で毛髪に悩む人々へ笑顔を届けるため、自社研究開発はじめ、大学との産学連携やパートナー企業との共同研究開発を積極的に推進し、画期的な人工毛髪や医療用ウィッグの研究、育毛・ヘアスカルプケア関連研究、抗がん剤脱毛抑制研究など、毛髪を通じた健康課題の解決を推進しています。

病院内ヘアサロン



当社は髪を通じて心の健康をサポートする医療事業活動に積極的に取り組み、その一環として病院内理美容室（ヘアサロン）を、2002年に開設し、現在では全国で35店舗（2022年8月現在）となりました。

病院内ヘアサロンでは、一般的な理美容サービスのほかに、医療用ウィッグ及び他社商品のアフターケア、抗がん剤治療に伴う副作用の脱毛時のご相談や外見支援のご相談により、患者さまのQOL (Quality of Life) の向上に向けたサービスを提供しています。

病院内ヘアサロンの海外展開

日本で評価の高い病院内ヘアサロンを、2011年からドイツ、オランダ、スウェーデンにも導入し始めています。（スウェーデンやオランダなどに2022年8月末現在8店舗）。

欧州では、医療用ウィッグを使用するお客様が健康保険から受けるメリットの制約がより厳しくなっているため、特にベネルクス社において実施するサポートに対してお客様は満足していると感じております。また、現地支援団体と協力し、病院でワークショップを実施することもあるなど、病院側との連携も進んでおります。

毛髪が開く Well-being の世界

第8回メタロミクスに関する国際会議にて 毛髪中のミネラル解析に関する研究成果を発表

2022年7月に開催された「第8回メタロミクスに関する国際会議 (ISM-8)」にて、毛髪中のミネラル解析に関する研究成果を発表しました。

会期中の7月12日（火）に、当社が取り組んでいる毛髪中のミネラル解析に関する研究成果をアデランス 研究開発部の研究員・リーダーの北村 弘明が「Challenges in measuring minerals in hair as a health indicator. (邦訳：健康指標としての毛髪内ミネラル測定の問題)」をタイトルに、ポスター発表を行いました。

（毛髪中のミネラル解析に関する研究の仮説）

毛髪に含まれるミネラル量 ÷ 体内のミネラル量

毛髪を診ることで
個人の健康状態を把握できる可能性

第12回世界毛髪研究会議にて 脱毛症に特徴的なタンパク質の発見を発表

2022年11月に開催された「第12回世界毛髪研究会議 (WCHR2022)」にて、毛髪のプロテオーム解析技術を用いて脱毛症に特徴的なタンパク質を同定することに成功したことを発表しました。

毛髪中に含まれるミネラルやアミノ酸などの多種多様な成分を正確かつ効率よく抽出し分析する技術に加え、近年発達が目まぐるしいディープラーニングを掛け合わせることで、毛髪に含まれる莫大なタンパク質を検出する方法である「毛髪プロテオーム解析」を確立しました。今回、「毛髪プロテオーム解析」を用いて、脱毛症のキーとなるタンパク質を探索し、TGM3という可能性のある物質を発見することができました。

今後は、TGM3と関係のあるタンパク質を同定することを目指とし、毛髪におけるTGM3の機能の詳細を明らかにすることで、脱毛症の新たなソリューションを提供するという夢に一步近づきたいと考えております。

毛髪から健康管理ができる

毛髪には様々な成分が含まれており、その成分を活用した新しい健康管理のための技術開発に取り組んでおります。自分でも気付けないような「身体からの危険信号」を読み取る仕組みの開発ができたら、病気の早期発見・早期治療につながり、現代の超高齢化社会やダイバーシティにおける、人々の健康増進、生き生きとした社会につながると考えております。



株式会社アデランス
研究開発部
リーダー
五十嵐 亨平

新たなアプローチで脱毛症の課題解決へ

脱毛症でお困りのお客様が心より満足するソリューションの提供につなげることを目指しています。毛髪は、まだまだ謎が多く、大きなポテンシャルを秘めた生体の情報源です。毛髪で何が起きているのか、今までになかった毛髪科学のアプローチで、脱毛症の課題解決に貢献したいと考えています。お客様のハピネスにつなげられる研究に熱心に向き合っていきます。



株式会社アデランス
研究開発部
杉元 啓悟

社会の笑顔

活動テーマ

健全な社会であること

- ・地域社会・コミュニティとの連携
- ・社会を配慮したユニバーサルデザイン
- ・働きがい・人財育成・ダイバーシティ&インクルージョン

アデランスグループでは、約6,700名の社員が、19の国と地域で国内約500店舗、国外約300店舗を中心に、グローバルな活動を広げています。国籍やジェンダー等を問わず多様な価値観や考えを持った社員が、個性・能力を最大限に発揮することで、新たな価値を創造し続けることを目指します。また、各拠点を通じた地域社会との共生を進めています。

生産拠点等での社会・地域のために

タイ) コロナワクチン接種支援を実施



2022年5月、ウィッグの製造などを行うワールド・クオリティ社(以下、WQC)では、新型コロナウイルス感染症への対策支援として、140名分のブースタードーズ(追加接種のた

めのワクチン)を購入し、「チュラボン王妃病院」に寄贈しました。寄贈されたワクチンは、接種支援のために役立てられました。

タイでコロナ蔓延が深刻だった頃、連日ニュースにてワクチン接種できていない方達がいることが報道されていました。そこで、現地での検討により、WQC・CSR活動委員会により募金活動を実施。廃材の売却益と支援金を合わせた資金により、ブースタードーズは購入されました。寄贈後には、チュラボン王妃病院より感謝状を授与されました。

フィリピン) 医療現場の最前線にいる医療従事者に支援物資を寄贈



ウィッグの製造などを行うアデランス・フィリピン社では、本社のあるクラーク経済特別区が進めている「Help Us Help Our Frontliners」キャンペーンに賛同し、マスクやゴーグルといった個人用保護具を、同区内の医療現場に寄贈しました。

主に関連するSDGs



活動指標

アデランス独自の毛材の種類の広がり

1991年 13 品番

2006年 69 品番

現在 112 品番
(2022年)

2030年 126 品番

ラオス) 工場を臨時の医療施設として提供

長期化する新型コロナウイルスの流行に対して、ラオスに工場を持つ企業として、現地の方々へ貢献できることはないかと考え、検討した結果、サワンナケート工場を閉鎖し、建屋を同国へ寄贈することを決定しました。

医療機関の少ない同国では、新型コロナウイルスの急拡大により医療施設や病床の不足が深刻化していたことから、2021年7月からは、サワンナケート工場の建屋を臨時の医療施設としてサワンナケート県へ貸し出し、2022年1月に建屋を寄贈しました。また、支援物資の提供や義援金の寄付など、継続的な支援も行っています。

理美容業界等に向けて「フェイスシールド」約 35,000 個を寄贈

新型コロナウイルスの流行が長期化する中、引き続き徹底した感染症対策と衛生管理が必要とされる理美容の現場に向けたサポートとして、全国理容生活衛生同業組合連合会に『AD フェイスシェルター』を寄贈しました。また、理美容業界同様に感染症対策が必要とされる福祉事業団体等への寄贈も行っています。

- 【寄贈内容】
- ・フェイスシールド『AD フェイスシェルター』約 35,000 個

- 【主な寄贈先】
- ・全国理容生活衛生同業組合連合会
 - ・日本ロジステック株式会社
 - ・社会福祉法人台東区社会福祉事業団
 - ・旭器械サービス株式会社
 - ・社会福祉法人立川市社会福祉協議会
 - ・株式会社マイロジスティクス



ラオス国政府より感謝状を受け取る当社社長の津村佳宏(左)とフォンサムット・アンラワン特命全権大使(中央)、アデランス・ラオス社長の千藤伸一(右)



全国理容生活衛生同業組合連合会 大森 利夫 理事長(左)

働きがいのある環境へ

アデランスグループでは、一人ひとりが働きがいを感じ、心身ともに健康で充実した暮らしを実現するとともに、事業を通じて多くの笑顔を社会に届けたいと願っています。とくに、商品を販売するだけでなく、アフターサービスに注力しており、社員の理美容技術を高めることが、お客様にウィッグを笑顔で使っていただくだけでなく、社員の笑顔にもつながると考えています。

最高の技術と知識

現在、社内には、独自の技術者認定試験制度や研修体制が整えられており、病院内ヘアサロンや直営店では理容師や美容師などの資格を有する、ウィッグスタイルに関する最高の技術と知識を持つスタッフが、お客様の毛髪に関する多様なニーズに応えています。

社員のスキル向上

(国内) 2022年8月31日現在
理容師免許:390名
美容師免許:1,090名
理容師免許・美容師免許:37名
毛髪診断士®:374 名
認定講師:16 名
認定指導講師:7 名

フィリピン) 職場環境の充実度で表彰

2013年2月、アデランス・フィリピン社が、フィリピンの労働省から、社員(特に女性)に対する職場環境の充実、福利厚生面での促進、社員の家族に対して配慮されているとして表彰されました。



人工毛髪による人毛使用率の削減

これまでほとんどのオーダーメイド・ウィッグには人毛が使われていました。アデランスグループでは、安定調達の観点から、1983年より人工毛髪の研究を始め、人毛に劣らない人工毛髪の開発に成功し、1991年より「サイバーヘア」「バイタルヘア」「サイバーエックス」などの商品として提供しています。

第三の機能性人工毛の開発に成功



2022年10月、繊維学の世界的権威で当社の学術顧問、東京工業大学 物質理工学院の鞠谷雄士特任教授と共同研究の下、約15年間の研究期間を経て、機能性人工毛「CYBER X(サイバーエックス)」を新たに開発しました。ポリアミドとポリエステルからなる海島(うみしま)構造に仕上げることで、天然毛髪に近いツヤ感を再現しています。また、海島構造によるツヤ消し技術が進化したことで、二次加工の工程で発生する廃棄物の削減にも成功しました。

ヘアクラブ社) Pay It Forward

ヘアクラブ社は、2000年に公開された米国映画「ペイ・フォワード 可能の王国」に感銘を受け、“厚意の輪を広げる”活動を2015年より開始。「Pay It Forward」は、慈善活動を通じて社員が地域社会に貢献することをサポートし、推奨するために作られたボランティアプログラムです。受けた厚意を相手に返すのではなく、周りの人に感謝の気持ちを広げていくことをテーマにしています。

- ・2015年以降、31回の関連コミュニティおよび寄付イベントを開催
- ・2,168時間の社員の時間での活動
推定価値:105,000ドル
- ・学用品、自然災害の救援、衣類の寄付イベント
12,500ドルの現金寄付

「最高の技術と知識」「心からのおもてなし」のできる人財づくり

私は「人有りき」と常々思い業務に取り組んでおります。いくら良い商品を開発しても、扱う人に技術力と知識が無ければ、その良さや魅力を伝える事は出来ません。また今の時代、比較検討し欲しい物が何でも手に入ります。そのような環境下で必要とされるには、お客様を第一に考え立場や心情をよく理解し、心からのおもてなしができる人財が不可欠となります。

当社は2023年に創業55周年を迎えます。創業100年に向け、経営理念である「最高の商品」「最高の技術と知識」「心からのおもてなし」を実践し、これからも社会やお客様に求められ続ける社員育成に、技術や知識だけでなく「心」の教育をしてまいります。



株式会社アデランス CS教育部 部長 藤生 善則

Spiber 社の構造タンパク質を活用した新毛材を開発中

人工毛髪の原料となる石油も限りある資源であり、今後100年を見据え、枯渇資源に依存しない新たな選択肢となる毛髪素材の創出を目標に、当社と構造タンパク質素材の産業化に取り組むSpiber株式会社で新毛材の開発を進めています。



地球の笑顔

活動テーマ

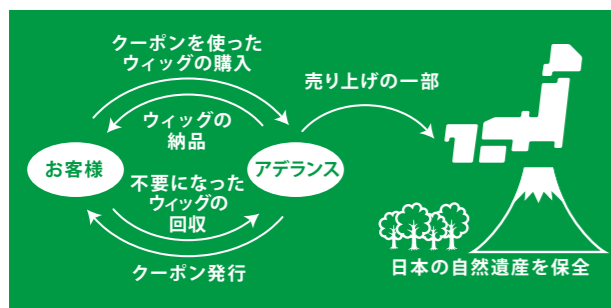
地球が永遠に続くこと

- ・環境汚染予防
- ・環境負荷の低減
- ・資源循環型社会の実現

アデランスグループは、「環境」を企業の社会的責任の一つと考え、商品の環境対応や事業所での環境負荷の低減など、経済と環境が両立する持続可能な社会を創造できるように、環境に配慮した活動に取り組んでいます。

ウィッグの回収と環境保全を結ぶエコサイクル 2009年のキャンペーン開始から14年目 フォンテーヌ緑の森キャンペーン

当社の主力商品であるウィッグは、約80%以上がポリエステル由来の人工毛髪で作られているため、お客様がご使用されたあと、家庭ごみとして廃棄されると、CO₂の発生が危惧されます。そのようなウィッグを回収して、当社が適切な廃棄処理を行うことで、環境負荷への影響を低減することができるのではという思いから始まったのが「フォンテーヌ緑の森キャンペーン」です。



2022年1月には、感染対策を行った上で、静岡県立森林公園で140本のアカマツの苗木を社員自ら植えました。



店舗での環境負荷の低減

3D型取りシステムを導入

2014年12月より、独自に開発した3D型取りシステムを店舗に導入しています。これにより、従来の頭髪測定で使用するフィッターを削減できるとともに、フィッター輸送が不要になるため、環境に配慮した対応ができるようになりました。



従来フィッター使用数
導入前：41,884個(2014年度)
導入後：17,150個(2021年度)

節水用シャワーヘッドの導入

店舗に節水用シャワーヘッドを導入しています。このシャワーヘッドの導入により、水道水の節水や温水化するためのCO₂削減に効果を発揮しています。



導入状況(2022年8月末現在)
国内188店舗

主に関連するSDGs



活動指標

環境保全面積(累計)

2009年 406m²

現在 25,989m²
(2021年)

2030年 30,000m²

環境保全面積(累計)

2009年度：	406 m ²
2010年度：	1,813 m ²
2011年度：	2,063 m ²
2012年度：	2,531 m ²
2013年度：	3,469 m ²
2014年度：	5,013 m ²
2015年度：	6,825 m ²
2016年度：	7,875 m ²
2017年度：	12,459 m ²
2018年度：	22,776 m ²
2019年度：	24,083 m ²
2020年度：	25,089 m ²
2021年度：	25,989 m ²

環境保全面積は、植林の場合は植林本数に応じた面積、環境保全団体への支援の場合は当該団体の管理面積と当社からの支援比率をもとに、試算した累計値になります。

生産現場での環境配慮の取り組み

アデランスグループは、高品質の商品をお客様にお届けするため、タイ・フィリピン・ラオスの3ヶ国に生産工場を持ち、生産販売一貫体制をとっています。

今回、タイ工場のレディメイド・ウィッグの生産現場での、環境の取り組みについて紹介します。

ISOマネジメントシステム

タイ工場では、安定した製品クオリティを維持するためISO9001を取得し、さらに、ISO14001(国際環境管理規格)を認証取得し、環境を配慮した活動を継続して実施しています。

水の管理

カルシウム・マグネシウムなどのミネラルが多い硬水では、ウィッグの品質が劣化してしまうため、軟水を調達・利用しています。また、染色で使用した水は、環境配慮し、高性能の浄化設備で処理しています。

製造以外での環境の取り組み

ソーラーシステムの導入

工場建屋の屋上に太陽光パネルを設置し、電力の一部を賄っています。また、敷地内の池(消火用水)の水が腐らないようにするため、ソーラー攪拌機を設置しています。



工場周辺のゴミ拾い

2008年より毎月、昼休みを利用した工場周辺のゴミ拾いを行っています。(2020年・2021年はコロナ禍により中断)

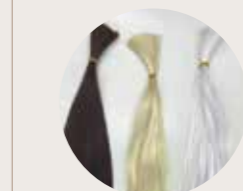


部材のリサイクル利用

ウィッグ製作時に発生する廃材を有効活用できないかと考え、造花、車拭きやクッション、サンダルなど多種多様な試作に取り組んでいます。また、廃材をリサイクル業者へ売却し、その収益で工場内に植林を行っています。



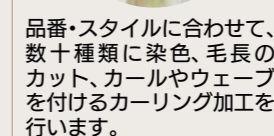
レディメイド・ウィッグの製造工程



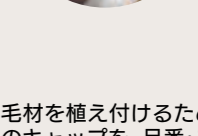
1 Fiber



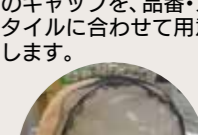
2 Dyeing



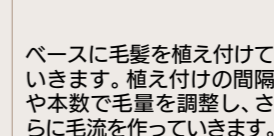
3 Weft



4 Curling



5 Cap



6 Post



7 Ventilation



8 Washing

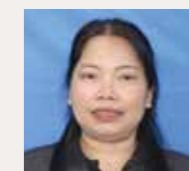


9 Finishing

住みやすい環境を未来の子供たちに残していきたい

アデランス・タイ社では、地域との結びつきを大切にしています。少しでもお役に立てよう、地域の活動へ積極的に参加しています。また、製造過程においては、環境に配慮した生産体制を心がけています。例えばカーリングペーパーなど、何度も使えるものは、大切に使う工夫をする等、工場の風土として、その心がけは浸透しています。近年では、温暖化対策として植樹やCO₂排出削減を目的とした、ソーラーシステムの導入などにも積極的に取り組んでいます。

今後も継続的に地域社会とさらに連携し、住みやすい環境を未来の子供たちに残していきたいと思っています。



アデランス・タイ社
総務課スーパーバイザー
パッシターナン・
チュアチャン

未来の笑顔

活動テーマ

明るい未来を広げること

- ・文化の発展
- ・持続可能な社会に向けた取り組み
- ・子どもたちへのサポート

近年、社会は大きく変化し、またその変化の速度も早まり、それに伴い社会的課題も複雑化しています。アデランスグループは、「笑顔」や「よろこび」があふれる未来の実現をめざし、当社の強みを活かせる領域での課題解決を通じて、未来につながる価値への取り組みを進めています。

芸術文化活動

毛髪・ウィッグ領域でのエンターテインメント業界をサポート

アデランスでは、ウィッグを多彩な文化芸能活動に提供することで、エンターテインメント業界の発展に貢献するとともに、ウィッグ文化の普及に努めています。

スタジオ AD
ウィッグとヘアメイクのエキスパート集団
～エンターテインメント業界を支えて39年～



撮影：堀 勝志古

当社は、ウィッグを多彩な文化活動に提供することで、ウィッグの持つ可能性を広げています。中でも文化芸能部門であるスタジオ ADは、日本を代表する舞台芸術・映像作品を手掛けています。

1983年にミュージカル『キャッツ』が劇団四季によって日本で初演されました。『キャッツ』の激しいダンスの動きに耐えるウィッグは、劇団四季のヘアメイク・衣裳デザイン担当者と当社スタッフが協力して開発したものです。その後、当社独自の芸能用ウィッグは、『オペラ座の怪人』、『クレイジー・フォー・ユー』といった日本を代表する舞台に採用され、その他多数の分野で芸能用ウィッグをご使用いただいています。

主に関連するSDGs



活動指標

アデランスグループの
お子様へのウィッグ寄贈数（累計/概算）
（愛のチャリティとHairClub For Kids）

2012年 4,452 枚

現在 22,910 枚
(2021年)

2030年 39,600 枚

※ HairClub For Kidsはグループ化した
2013年からの累計値

輝く人への応援

当社は、自分らしく生き、今を輝いて活動される人々を、毛髪・ウィッグを通じてサポートしています。

タンゴ歌手 冴木 杏奈 様



冴木杏奈様は、タンゴ界において新しい感性の歌手として、世界各国で高い評価を得ています。2022年には、デビュー35周年記念の年間公演や、アルゼンチンで出演したフェスティバルなど、様々なウィッグで国内外のステージをサポートさせていただいています。

五輪金メダリスト ジョアンナ・ロウセル 様
ジョアンナ・ロウセル様は、ロンドン（2012年）、リオデジャネイロ（2016年）でのオリンピックで2大会連続金メダルを獲得した元英国自転車競技選手です（2017年3月に引退）。幼い頃にアロペシア（脱毛症）に患われ、髪の毛のほとんどを失われています。オリンピックのセレモニーで使用するウィッグなどでサポートさせていただきました。



クレイジーケンバンド 横山 剣 様
2022年3月に行われたクレイジーケンバンド横山剣デビュー40周年記念ライブで、当社オリジナルの「リーゼントウィッグ」を提供し、ヘアスタイリングを担当させていただきました。

子どもたちへのサポート

子どもたちの未来の可能性をもっと広げたい

アデランスグループは、さまざまな要因で困難な状況にある子どもたちの支援に、国内外で取り組んでいます。これらの取り組みを通じて、未来を担う子どもたちに、一人でも多くの笑顔が溢れることを願っています。

愛のチャリティ

1978年から続く アデランスのCSR活動の原点

当社は、1978年から「愛のチャリティ」を実施しています。これは「お子さまの髪の毛を心の傷にしないために」をテーマに、病気やケガなどの理由でウィッグを必要とするお子さま（現在は4歳から15歳までが対象となります）が笑顔を取り戻していただけよう、売上金の一部を活用しウィッグをプレゼントするという活動です。

当初はクリスマスの時期に限定していた活動でしたが、2012年9月から通年ものとなりました。2014年3月からは、従来のオーダーメイド・ウィッグだけでなく、レディメイド・ウィッグ（既製品）も、プレゼント対象に加わりました。

年度	贈呈数
2013	172 枚
2014	265 枚
2015	343 枚
2016	336 枚
2017	315 枚
2018	330 枚
2019	308 枚
2020	333 枚
2021	383 枚

ヘアクラブ社)HairClub For Kids

米国ヘアクラブ社は、「愛のチャリティ」と同様のサポート活動として、6歳から17歳の髪に悩む子どもたちにウィッグをプレゼントする「HairClub For Kids」を行っています。1995年からスタートし、27年継続して提供しています。



サンタスマイル活動

クリスマスの時期に、自宅に帰れないお子さまのために病院を訪問し、プレゼントをお渡しする「サンタスマイル活動」を30年以上継続しています。2021年には全国8カ所の病院に訪問し、それ以外に24病院にプレゼント贈呈を行いました。



ヘアクラブ社)HairClub Cares: Christmas Toy Drive

ヘアクラブは、クリスマスのホリデーシーズンに、どんな境遇にある子供でもクリスマスのプレゼントを貰えるよう、HairClub Cares: Christmas Toy Driveと題した活動をサルベーション・アーミーと共にしています。この活動は地域社会に貢献する活動で、ヘアクラブスタッフは子供たちにおくるプレゼントの箱詰めやラッピングのお手伝いも行います。



『髪の毛を心の傷にしない』は国内外グループの共通言語

良いウィッグは使用する方の気持ちを後押しする存在になっている、と感じています。抗がん剤で脱毛されたお子さまは治療を乗り越える闘病の活力に。円形脱毛症のお子さまは学校へ行く勇氣に。抜毛症のお子さまは自分の気持ちと向き合うところの絆創膏として。チャリティで提供したウィッグが少しでもお子さまやご家族の前向きな気持ちに寄り添う存在であつたらと思ひ活動してきました。愛のチャリティは、『髪の毛を心の傷にしない』という不変のテーマによって40年以上も続いてきました。これはグループ内の共通言語のようで、多く海外版社でも同様の活動がありワンチームで取り組んでいます。世界中のスタッフは同じバッジだけではなく、同じ気持ちを持っている。それを象徴する存在に今以上に発展してもらいたいです。



株式会社アデランス
医療事業部
マネージャー
春原 正俊

NPO 法人 JHD&C への協力

当社は、2015年3月よりNPO 法人 Japan Hair Donation & Charity (JHD&C = ジャーダック) の活動に協力しています。JHD&Cは、ヘアドネーション（髪の毛の寄付）によって製作した人毛100%のオーダーメイド・ウィッグを、病気などでウィッグを必要とする子どもたちに無償提供しているNPO法人です。

（JHD&Cと当社の連携例）

- 2015年3月～：協力開始
- 2016年4月～：ウィッグの制作協力
- 2018年9月～：ヘアドネーション支援自動販売機を設置
- 2018年10月～：当社サロンなどを賛同美容室として登録

アデランス × JHD&C × 資生堂 医療用ウィッグを共同開発

当社とJHD&C、資生堂3者の、一人でも多くの髪にお悩みをもつ方の力になりたいという思いが一致し、より自然な黒髪を表現するために、人工毛髪を当社オリジナル配合比でブレンドした医療用ウィッグ「wig+（ウィッグプラス）」を共同開発し、2022

年11月より販売開始しました。3者の役割は、JHD&Cが企画、当社が製造を担当し、資生堂がヘアデザインの監修、そしてオリジナルのバングメソッドを活用したヘアアレンジの提案を行います。当社と資生堂はCSR活動の一環としてノウハウを無償提供しました。

Wig+



ステークホルダー・ダイアログ

今回は、当社の社外取締役である高野一彦関西大学教授を、外部の有識者としてお招きして、「サステナブル目線での商品開発」をテーマに「ステークホルダー・ダイアログ」を実施しました。（実施日：2022年9月20日）

新田：アデランスが培ってきたノウハウや様々な研究パートナーの協力によって『L'HOMME ADERANS』という新商品が発売となりました。この商品には、機能だけでなく、環境に配慮した新しい切り口を盛り込んでいます。今回、この商品開発を担当した太田マネージャーを交え、当社の商品の開発の背景やSDGsを考慮している点などをお話したいと思います。まず『L'HOMME ADERANS』を例に具体的に紹介していただけますか。

太田：2019年12月ごろ、根本会長から「アデランスを体現する名刺代わりにお渡しできる商品を作りたい」というお話がありました。当社は、創業50年超の間、ウィッグや人工毛髪を作る技術以外に、脱毛や毛髪再生等の研究にも取り組み、育毛効果のある成分や頭皮環境を整えるノウハウをいくつも生み出してきました。その成果を、当社サロンに来られるお客様にもっと深く知っていただく機会が作れないか。また、お客様以外にも、お取引先様や周囲の関係者などのより多くの人に、毛髪のプロとしてのこだわりを語りながら商品を提案できないか。『L'HOMME ADERANS』は、こだわりのある商品をお求めの方に、当社をもっと身近に感じていただきたいという思いを込めて、これまでの英知を結集して開発した商品です。

高野：どのようなコンセプトを提案するのでしょうか？



株式会社アデランス
社外取締役
高野 一彦

・関西大学 社会安全学部・大学院
社会安全研究科
教授・博士（法学）
・日本経営倫理学会 常任理事
・一般社団法人 経営倫理実践研究センター
上席研究員
・NPO法人 日本経営倫理士協会 理事



アデランスの新商品『L'HOMME ADERANS』
SDGsの観点から環境への配慮と、プラスチックの使用を削減しつつ、
伝統工芸を活用しデザイン性も追求した商品

太田：単なるヘアケアのための商品ではなく、短時間のケアで、あらゆる年齢に応じたお悩みに対応する。その上で日常のバスタイムを極上にお過ごしいただきたい、というコンセプトです。昨今、テクノロジーの普及や働き方改革により現代人はいつでもどこでも働くことができてしまいます。便利になった一方、仕事とプライベートの境目がなくなり気づくとずっと交感神経が“オン”のまま、ストレスを抱えています。そこで、毎日のお風呂場の時間を利用して、毛髪をケアしながらスイッチの切り替えができる、ストレスを軽減する、そんな商品を目指しました。

新田：『L'HOMME ADERANS』の開発にこだわった点など教えていただけますか。

太田：開発にあたりこだわったポイントが大きく3つあります。①知見があるのに使われていない、当社が持っている独自の原料を贅沢に配合し、多機能な効果追求型のシャンプーとコンディショナーを作る。②当グループの特徴を生かしてグローバルな視点で開発する。海外の事業会社で特にフランス社とは何度もやり取りをして、ブランド名、マーケティング情報の収集、香料をご提案いただき開発を進めていきました。③SDGsを意識して開発する。いろんなものにやさしく、持続型の商品にしたいという当社の未来へのメッセージを表現しました。

新田：シャンプーは成分が大切ですね。今回の成分の中で、特にこだわって注目したテクノロジーがあれば、教えてください。



株式会社アデランス
研究開発部 マネージャー
太田 あつ子

太田：肌老化の二大原因といわれる“酸化”と“糖化”に着目して配合しました。当社は、毛髪について大学などの公的研究機関と一緒にメカニズムの解明を進め、さまざまな研究結果を発表しています。その中で、脱毛に限らず、白髪等のエイジングを加速させる原因が解ってきました。

新田：商品としての使い心地にもこだわったのですか？

太田：アデランスの開発ポリシーとして「頭皮毛髪にやさしくなければならない」というものがあります。シャンプーはなるべく少ない液量で、早く濃密で弾力のある泡が作れるように工夫しました。また余分な汚れを素早くキャッチして洗い流せるような設計にしています。洗浄成分は洗浄力と理想的な洗い上がりを両立するために複数厳選し、組合せを何パターンも作って、最適と思う調合に仕上げました。

高野：わが国は2055年には高齢化率が4割を超えると予想されています。この商品は、少子高齢化の進展という社会課題の解決に当社が貢献できるのではないかと感じました。あらゆる年齢層のお悩みに答える研究を進めていくことは、社会の活性化に重要ではないでしょうか。

新田：この商品は、パッケージにもこだわったんですね？

太田：SDGsに取り組んでいます。まず、容器は使い捨てではなく、何度も繰り返し使えるように耐久性の高い樹脂を選定し、中身は詰め替え用のパウチで素材にバイオマスプラスチックを採用しました。容器はインテリアの要素を取り入れました。4色展開でご自身のお好みの色を選んでいた

だくなど愛着をもってご使用いただける容器にしました。詰め替え口を大きく、詰め替えやすいように細部まで工夫を凝らしました。また、お風呂場で汚れにくい、抗菌性のある塗装を施しました。この塗装はさまざまな塗装や絵付けを行うことができる山中漆器の職人が一つ一つ手で塗っています。山中漆器は石川県の加賀市にある450年続く伝統工芸で、この伝統を守るためにも、このような協働が実現しました。

高野：今回のお話をお聞きして、この商品はサステナビリティ・環境・高齢化社会という社会課題への当社の貢献のあり方に道筋を示していると思いました。環境という点では、従来からフォンテーヌの森等の活動に取り組んでいますが、その流れで、包装であったり、サステナブルな社会に貢献するような点を、強く意識するようになってきていると思います。商品独自のストーリーを持ち、これに共感する人に顧客になっていただくというところに、可能性の高さを感じました。今後に期待しています。

これからの50年に向けたアデランスを体現する商品として、『L'HOMME ADERANS』を開発したことを記念し、開発者とのダイアログを実施しました。

アデランスでは創業以来、毛髪の専門家としてあらゆる髪の悩みに向き合い、常に最高の商品をお届けするため、商品企画・研究開発に力を入れてまいりました。一人ひとり違う毛髪のお悩みにお応えできるよう、大学研究機関等との産学連携により様々なテーマの研究を進め、毛髪分野に関する新たな知見を探っています。アカデミックな助言や裏付けの取れたデータを元にした育毛や毛髪研究の成果などを活用し、お客様の喜びの輪を広げていきたいと考えています。

当社の事業領域は、毛髪分野で培ったノウハウや技術を周辺領域に生かすべく、「美容・健康・医療のウェルネス産業」へ50周年を機に、事業の幅をますます広げています。世界中のアデランスグループが一丸となることでウェルネスを推進し、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に向けて、社会課題の解決に貢献する事業推進に努めてまいります。



（司会進行）
株式会社アデランス
グループCSR広報室 室長
経営倫理士
毛髪診断士®認定講師
新田 香子



アデランスのCSR

アデランスのCSRについて

アデランスグループでは、CSRへ取り組むことの意義を「健全で持続的な企業成長を目指すこと」という成長ドライバーにすることで事業との一体性を明確にし、本業を通じたCSRと位置づけたことにあります。そうした活動の根幹には、「自社の強みを社会で活かす」ことがあります。

CSR 広報

アデランスグループのCSR活動や取り組みを多くの方に知っていただくため、イベント等での講演、新聞等からの取材、書籍へのケーススタディの執筆、学術論文での研究対象としての協力などが進んでいます。

CSRラジオ放送「笑顔のつながり」



当社のCSR活動を1人でも多くの人々に知っていただくことを目的に、FMラジオを通じたCSRラジオ「笑顔のつながり」を2018年9月より放送しています。当社のCSR活動の考え方や4つの象徴的なCSR活動等をラジオパーソナリティの河村由美さんと共に紹介しています。

「おはようサンデー」毎週日曜日 朝7時～8時55分
（「笑顔のつながり」は番組内8時30分～45分のコーナー（第3・4日曜））
全国のコミュニティFM放送局にて放送

朝日地球会議に特別協賛



朝日新聞社主催の「朝日地球会議」の趣旨であるSDGsの考え方に、当社は深く共感し、2018年から5年連続で特別協賛しました。2022年は、「毛髪の可能性を追求した価値共創型SDGs」というテーマで、グループCSR広報室長 新田 香子が講演いたしました。

「朝日地球会議」は、国連が掲げた「持続可能な開発目標（SDGs）」への道筋を、国内外から招く政治、経済、科学技術分野等の有識者やオピニオンリーダー、企業人と話し合う、朝日新聞社主催のイベントです。

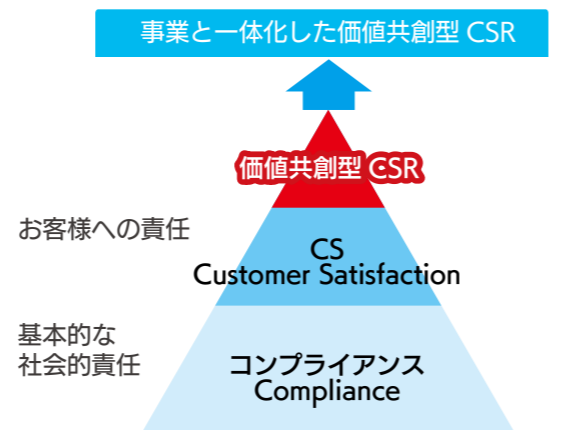
Webメディア『CSRの品格』



株式会社ベストセラーズ（KKベストセラーズ）が運営するWebメディア『BEST TIMES』に、『CSRの品格』の連載をしました。『CSRの品格』では、上席執行役員 箕輪 睦夫をホストに、各回でゲストを招き、CSRについて考える対談コラムです。

第1回目ゲスト
関西大学 社会安全学部・大学院 社会安全研究科 教授 高野 一彦 様

第2回目ゲスト
合同会社ツバルの森 代表社員 三嶋 浩太 様



講演回数	大学でのCSR特別講義	アナリスト・投資家向けセミナー	企業・一般向けセミナー
2011	0	1	1
2012	5	3	3
2013	11	7	3
2014	8	3	10
2015	9	3	1
2016	12	3	1
2017	9	2	3
2018	8	2	3
2019	10	2	3
2020	3	0	1
2021	2	0	3
2022	3	0	1

（2022年10月末現在）

ますます深化していくアデランスのCSR

2009年から「フォンテーヌ緑の森」の協働を始めて以来、アデランス社のCSRについて、さまざまな視点で見つめてきました。日本だけでなく、海外グループ会社でもCSR活動の領域が広がり、同社の特徴である価値共創型CSRは、ますます深化していると感じています。経済成長しながら、世界の社会的な課題を解決していく、ベストプラクティスとして掲げたい会社です。



合同会社ツバルの森
代表社員
三嶋 浩太 様

目次

会社紹介

会社情報	1
トップメッセージ	2
沿革	3

特集

国内事業	7
海外事業	9
グループ生産拠点	11
コーポレート・ガバナンス	12

特集：アデランスのSDGs

象徴的な活動

健康の笑顔	15
社会の笑顔	17
地球の笑顔	19
未来の笑顔	21
ステークホルダー・ダイアログ	23
アデランスのCSR	25
目次など	26

企画・制作

株式会社アデランス グループCSR広報室
編集長 田中 優衣

アドバイス・サポート：ツバルの森

本レポートの表紙について



障害者の方々の自立を支援させていただくことを目的に、2021年のCSRコミュニケーションレポートより、障害をもつ人たちのアートを表紙絵として利用させていただいています。これからも様々な活動を通じて、豊かな社会づくりに貢献していきたいと考えております。

鯨が好きです。鯨のフォルムが特に好きです。この鯨を描くのは3回目です。海のイメージのある鯨を植物の中で泳がせてみようと思い描きました。つたと水晶をどう色分けするのかが大変でした。鯨以外にも人が隠れているので探してみてください。幼い頃から絵を描くのが好きで、あと集中してやりたい気持ちもあります。絵の評価をしてくださったことに感謝しております。

2021 パラアート TOKYO 第8回国際交流展
アデランス賞 受賞作品「クジラ」作者 Yui 様

編集方針

「CSRコミュニケーションレポート2022-2023」発行にあたり

2023年、当社は創業55周年を迎えることになります。社会の課題解決と事業を統合した企業経営が求められる中、当社は1968年の創業以来、お客様や社会の「笑顔」を増やすことに注力してきました。今後も、「自社の強みを社会で活かす」を根幹に、歩み続けていきたいと考えています。

当社は、本書の発行を通じて、取り組みを開示し、ステークホルダーの声を取り入れながら、活動をさらに進めていくための重要なツールと位置づけています。本書をご高覧の上、率直なご意見や今後の当社に期待されること、ご要望などを頂戴できれば幸いです。

報告書の対象期間と範囲

対象期間：2021年3月～2022年2月

ただし、特徴的で継続的な活動についてはこれ以降の最新の情報もご紹介しています。

対象範囲

株式会社アデランス及び主要グループ会社を含みます。

発行日

2022年12月（年1回発行、次回発行予定：2023年10月）

CSR 情報開示の体系

アデランスグループの様々な活動を、ステークホルダーの皆様へ情報を適切にお届けできるよう、「冊子版」と「Web」の形式でまとめています。

冊子版



冊子版では、「CSRレポート」「笑顔のために」の2誌において、特徴や進展のある活動内容をクローズアップして紹介しています。

Web



最新の活動状況、冊子で紹介していない活動内容や数値・データ等を集約し、開示しています。

<https://www.aderans.co.jp/corporate/csr/>

本書に掲載されている社名、団体名、商品名またはサービス名等は、各社・団体の商標または登録商標です。なお、本文等では、「TM」「®」は明記しておりません。



本書は、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。